

# 令和4年度環境放射線等測定結果

(島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺)

令和5年8月  
鳥 取 県

# まえがき

鳥取県では、中国電力株式会社島根原子力発電所及び国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター周辺における地域住民の安全確保及び環境の保全を図るため、原子力施設周辺の放射線を監視しています。

本報告書では、令和4年4月から令和5年3月までの監視結果について、鳥取県原子力安全顧問における確認（令和5年7月実施鳥取県原子力安全顧問会議等）を経て、とりまとめを行ったものです。

# 目次

まえがき

## 令和4年度平常時モニタリング測定結果

	ページ
<b>【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】</b>	
1 測定方法	1
(1) 概要	1
(2) 実施機関	1
(3) 測定項目等	1
(4) 測定結果の評価方法	6
2 令和4年度測定結果	8
(1) 測定結果概要	8
(2) 測定項目別の結果	15
3 令和5年度の平常の変動幅の設定について	28
(1) 空間放射線	28
(2) 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定	29
(3) 環境試料の核種分析	30
(4) 令和4年度で測定終了した測定項目【参考】	32
<b>【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】</b>	
1 測定方法	33
(1) 概要	33
(2) 実施機関	33
(3) 測定項目等	33
(4) 測定結果の評価方法	37
2 令和4年度測定結果	38
(1) 測定結果概要	38
(2) 測定項目別の結果	44
3 令和5年度の平常の変動幅の設定について	53
(1) 空間放射線	53
(2) 大気浮遊じん全 $\alpha$ 放射能、大気中フッ素の連続測定（固定型モニタリングポスト）	53
(3) 環境試料中の放射性核種分析	54
(4) 令和4年度で測定終了した測定項目【参考】	54
<b>【Ⅲ 平常の変動幅超過に係る検証】</b>	
検証1 令和4年7月の米子局における空間放射線量率の平常の変動幅超過について	58
検証2 令和4年9月の木地山局における空間放射線量率の平常の変動幅超過について	62
検証3 令和5年1月の木地山局における空間放射線量率の平常の変動幅超過について	66
検証4 人形峠環境センター周辺の土壌試料のウラン分析結果に係る検討について	70

#### 【IV 参考資料】

1	可搬型モニタリングポストの稼働・通信訓練の結果	72
(1)	概要	72
(2)	結果概要	72
2	島根原子力発電所周辺における積算線量の経時変化	73
3	島根原子力発電所周辺における環境試料中の人工放射性核種の経年変化	74
(1)	セシウム 137	74
(2)	トリチウム	78
(3)	ストロンチウム 90	79
4	人形峠環境技術センター周辺における空間放射線量率（モニタリング車）、積算線量の経時変化	80
(1)	空間放射線量率巡回測定（モニタリング車）	80
(2)	積算線量測定	80
5	人形峠環境技術センター周辺における大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能（モニタリング車）の経時変化	81
(1)	大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 放射能巡回測定（モニタリング車）	81
(2)	大気浮遊じん中の全 $\beta$ 放射能巡回測定（モニタリング車）	81
6	人形峠環境技術センター周辺における環境試料中の放射性物質等の経時変化	82
(1)	陸水	82
(2)	土壌	83
(3)	農産物	86
(4)	植物	88
7	環境試料の測定結果に基づく預託実効線量（成人）	89
8	環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	90
(1)	島根原子力発電所周辺	90
(2)	人形峠環境技術センター周辺	95
9	気象測定結果	98
(1)	島根原子力発電所周辺	98
(2)	人形峠環境技術センター周辺	105
10	平常の変動幅の上限を超過した場合の要因調査等の方法	110
11	用語集	113
	過去に刊行した環境放射線等測定結果の訂正	116

# 令和4年度平常時モニタリング測定結果

## 【I 島根原子力発電所周辺】

### 1 測定方法

#### (1) 概要

境港市及び米子市に設置している固定型及び可搬型モニタリングポスト、蛍光ガラス線量計によって空間放射線の測定を行うとともに、さらに固定型モニタリングポストでは、大気浮遊じんの全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

#### (2) 実施機関

原子力環境センター

#### (3) 測定項目等

##### ア 空間放射線

表 I-1-1 測定項目（空間放射線）

項目	測定地点	測定月	備考
空間放射線量率	境港市上道町(境港局) ①	連続測定	固定型モニタリングポスト
	米子市河崎(米子局) ②		
積算線量	境港市上道町(境港局) ①	4～6月	蛍光ガラス線量計 (RPLD)
	米子市河崎(米子局) ②		
	境港市外江町(外江公民館) ③		
	境港市渡町(渡公民館) ④	7～9月	
	境港市竹内町(余子公民館) ⑤		
	境港市財ノ木町(中浜公民館) ⑥	10～12月	
	米子市和田町(和田公民館) ⑦		
	米子市大崎(崎津公民館) ⑧		
	米子市彦名町(彦名公民館) ⑨	1～3月	

※測定地点は図 I-1-1 を参照

#### <参考>

下記7カ所に設置している可搬型モニタリングポストにおいては、緊急時におけるOIL判断に使用するとともに、放射線に係る理解向上など普及啓発と広報を目的に、平常時から空間放射線量率の測定・データ公開を行っている。

- ③ 境港市外江町(外江公民館)
- ⑤ 境港市竹内町(余子公民館)
- ⑥ 境港市財ノ木町(中浜公民館)
- ⑦ 米子市和田町(和田公民館)
- ⑨ 米子市彦名町(彦名公民館)
- ⑩ 米子市大篠津町(大篠津公民館)
- ⑪ 米子市夜見町(夜見公民館)

※測定地点は図 I-1-1 を参照

イ 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能

表 I - 1 - 2 測定項目 (全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能)

区分	測定地点	測定月	備考
浮遊じん	境港市上道町 (境港局) ①	連続測定	ダストモニタ
	米子市河崎 (米子局) ②		

※測定地点は図 I - 1 - 1 を参照

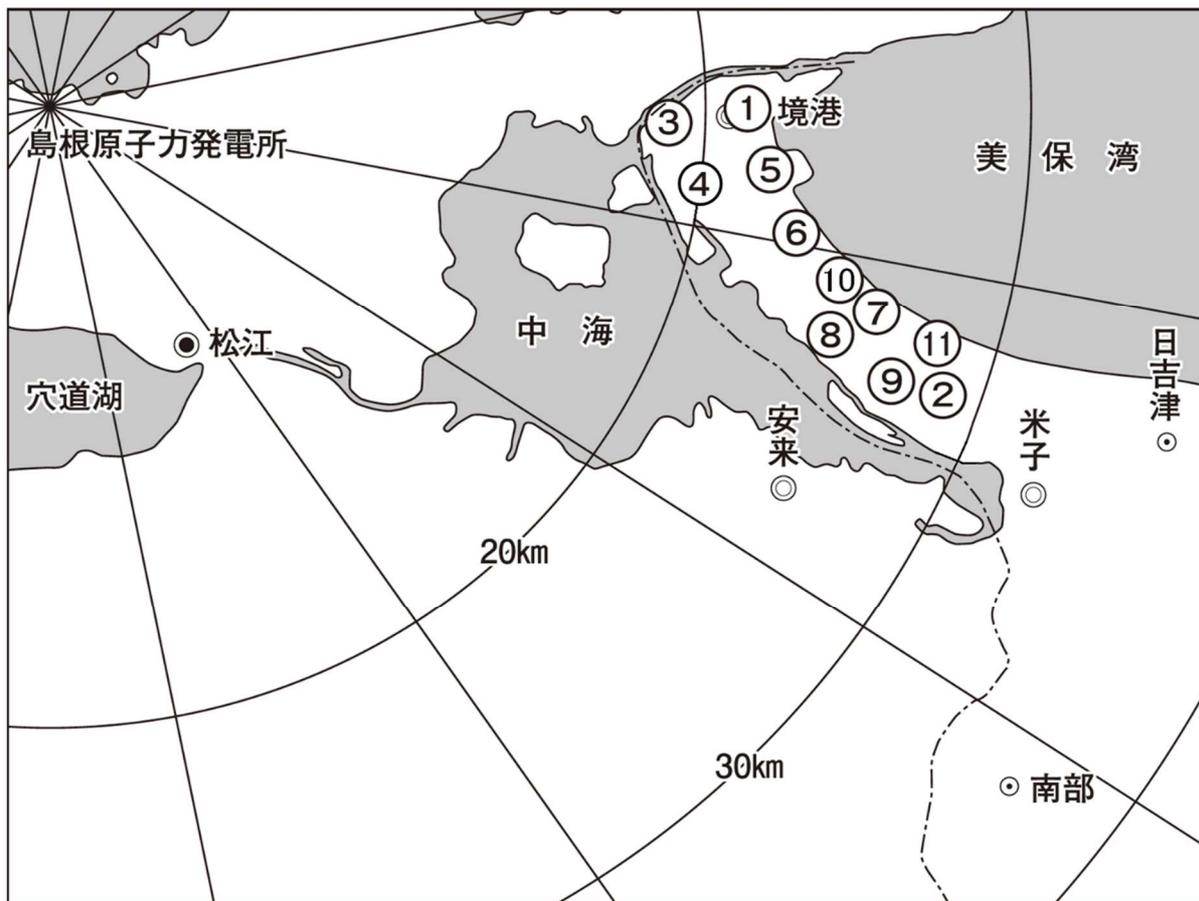


図 I - 1 - 1 測定地点図

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア)  $\gamma$ 線スペクトロメトリー

・対象核種：Mn-54、Fe-59、Co-58、Co-60、Cs-134、Cs-137、I-131

表 I - 1 - 3 測定項目（核種分析）

区分	試料	採取地点	採取月
浮遊じん	浮遊じん	境港市上道町（境港局） A	毎月
		米子市河崎（米子局） B	
降下物	降下物	境港市上道町（境港局） A	毎月
		米子市河崎（米子局） B	
陸水	水道水（蛇口）	境港市上道町 A	5月、10月
		米子市河崎 B	
	水道水（原水）	米子市福市 C （米子市水道局福市着水井）	
	池水	境港市小篠津町 D	10月
植物	松葉	境港市幸神町 E	10月
		米子市夜見町 F	
陸土	陸土	境港市馬場崎町 G	7月
		米子市河崎 B	
海水	表層水	米子市葭津地先 H	4月、10月
		米子市大篠津町地先 I	5月、11月
海底土	底質（表層）	米子市葭津地先 H	10月
		米子市大篠津町地先 I	11月
農産物	米	米子市夜見町 J	10月
	白ネギ	境港市中海干拓地 K	12月
	ダイコン（葉、根）	境港市中海干拓地 K	12月
海産物	ワカメ	境港市近海 L	4月
	イワガキ		7月
	セイゴ		3月
	ナマコ		3月

※測定地点は図 I - 1 - 2 を参照

(イ) トリチウム分析

・対象核種：H-3

表 I - 1 - 4 測定項目（核種分析）

区分	試料	採取地点	採取月
陸水	水道水（蛇口）	境港市上道町 A 米子市河崎 B	5月
	水道水（原水）	米子市福市 C （米子市水道局福市着水井）	
	池水	境港市小篠津町 D	11月
海水	表層水	米子市葭津地先 H	10月
		米子市大篠津町地先 I	11月

※測定地点は図 I - 1 - 2 を参照

(ウ) 放射化学分析（ストロンチウム）

・対象核種：Sr-90

表 I - 1 - 5 測定項目（核種分析）

区分	試料	採取地点	採取月
陸土	陸土	境港市馬場崎町 G	7月
		米子市河崎 B	
農産物	白ネギ	境港市中海干拓地 K	12月
海産物	ワカメ	境港市近海 L	4月
	イワガキ		7月

※測定地点は図 I - 1 - 2 を参照

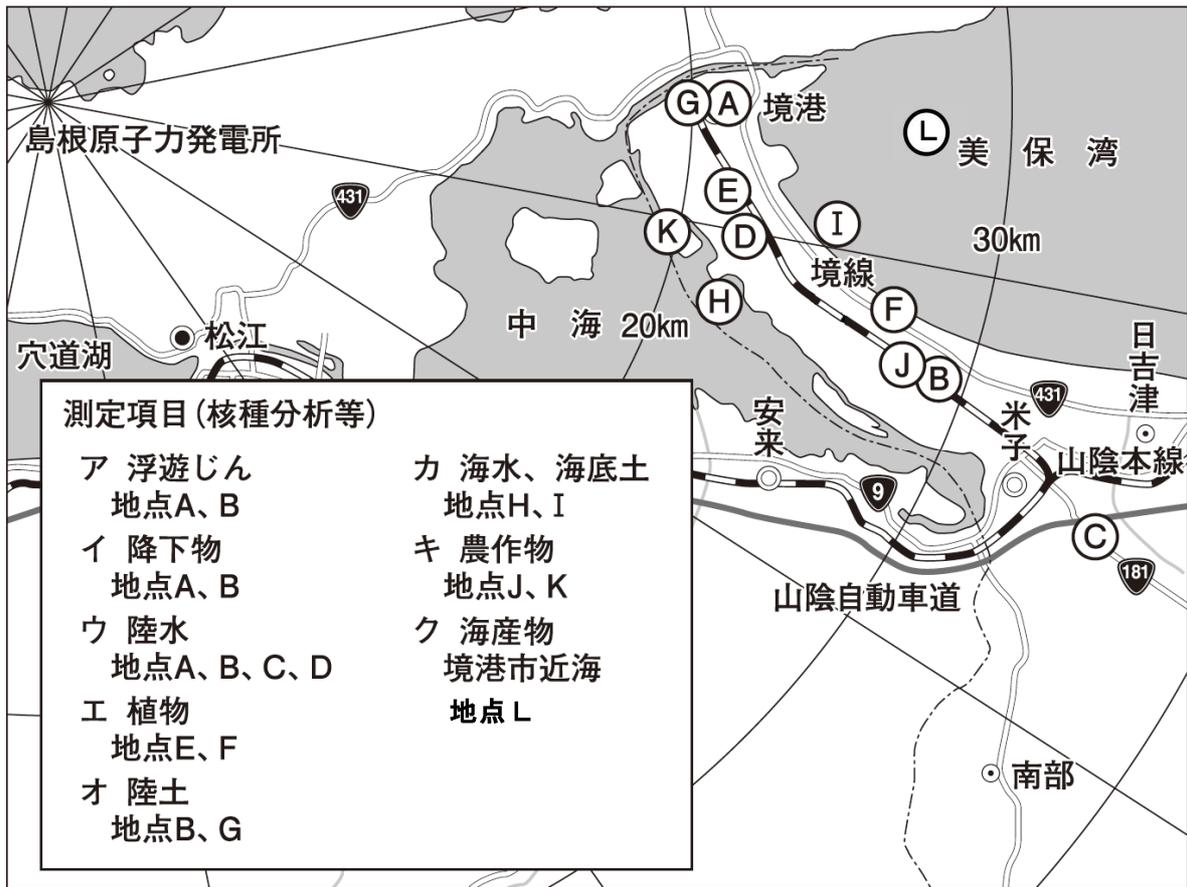


図 I - 1 - 2 測定地点図 (核種分析等)

エ 測定法及び測定器

表 I-1-6 測定法及び測定機器

項目	区分	計測試料	分析法	測定器等
空間放射線	空間放射線量率	—	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境γ線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 MSR-R54-21545R1 (可搬型モニタリングポスト) 富士電機製 NAH37401-B-BY2YY-S 日立製作所製 MAR-1561BR3
	積算線量	—	放射能測定法シリーズ「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線測定法」	蛍光ガラス線量計 (RPLD) 千代田テクノル製 ガラス線量計素子
大気浮遊じん	全α及び全β放射能	—	放射線測定法シリーズ「全β放射能測定法」、JISZ4316「放射性ダストモニタ」(200L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト) 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1
環境試料 (γ線スペクトロメトリー)	浮遊じん	捕集フィルター	放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリー」	ゲルマニウム半導体検出器 セイコー・イーザーアンドジー製 GEM30-70
	降下物	濃縮物		
	陸水	風乾物		
	陸土			
	海底土	吸着物		
	海水			
	植物			
	農産物			
海産物				
環境試料 (トリチウム分析)	陸水	蒸留物	放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	液体シンチレーションカウンタ 日立製作所製 LSC-LB7
	海水			
環境試料 (放射化学分析 (ストロンチウム))	陸土	化学処理後の沈殿物	放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
	農産物			
	海産物			

※植物、農産物、海産物 (ワカメ) については、生試料で I-131 を測定後、灰化处理し、再度測定

(4) 測定結果の評価方法

空間放射線等の測定結果については、「平常の変動幅」と比較し、これを超過した項目については、気象要因等の自然条件の変化、原子力施設の稼働状況等を調査して、原因につい

て検討する。

また、データの蓄積量が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考とする。

## 2 令和4年度測定結果

### (1) 測定結果概要

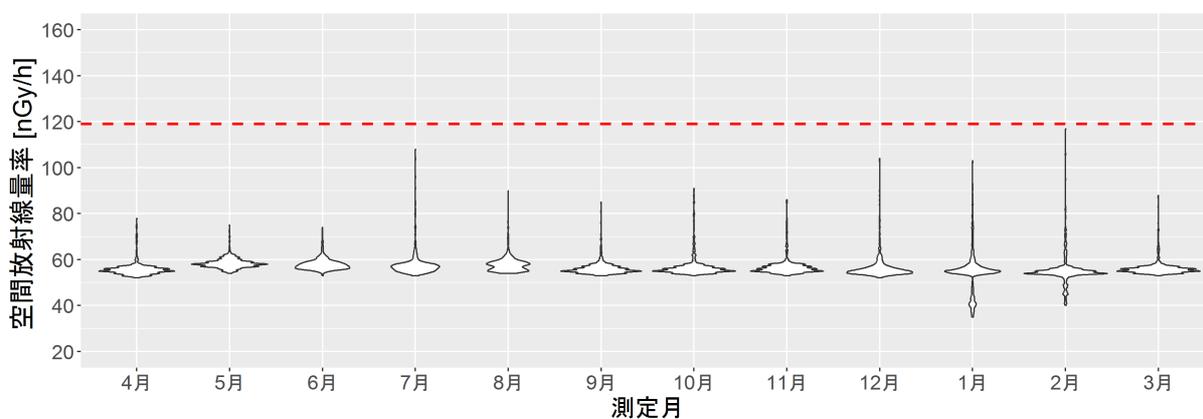
令和4年度の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

#### ア 空間放射線

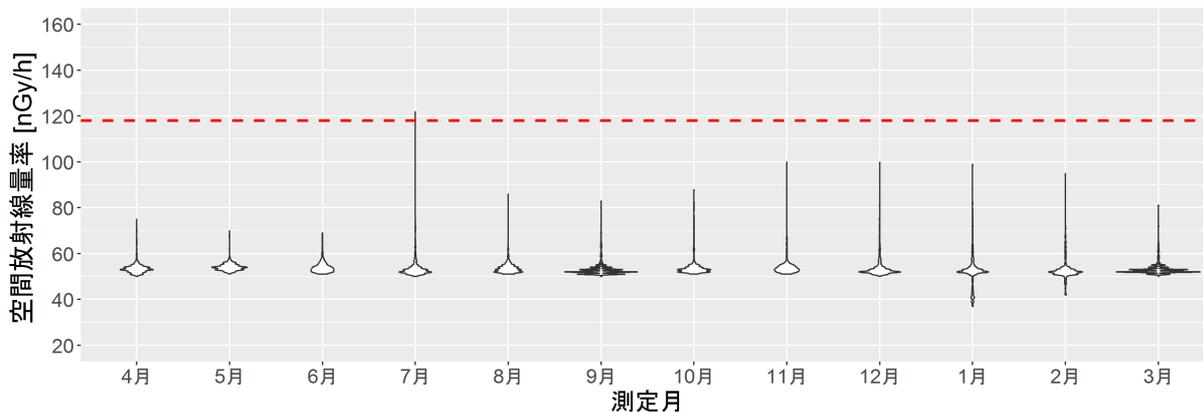
##### (ア) 空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

境港局については平常の変動幅の範囲内であったが、米子局については令和4年7月に平常の変動幅の上限（118nGy/h）を超過する線量率（122nGy/h）が観測された。

平常の変動幅の上限を超過した要因調査の結果、原子力施設による影響ではなく、降水時の上昇によるものと考えられた（Ⅲ 検証1参照）。



境港局



米子局

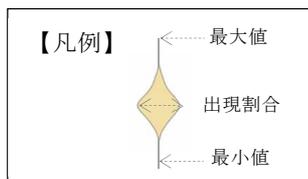
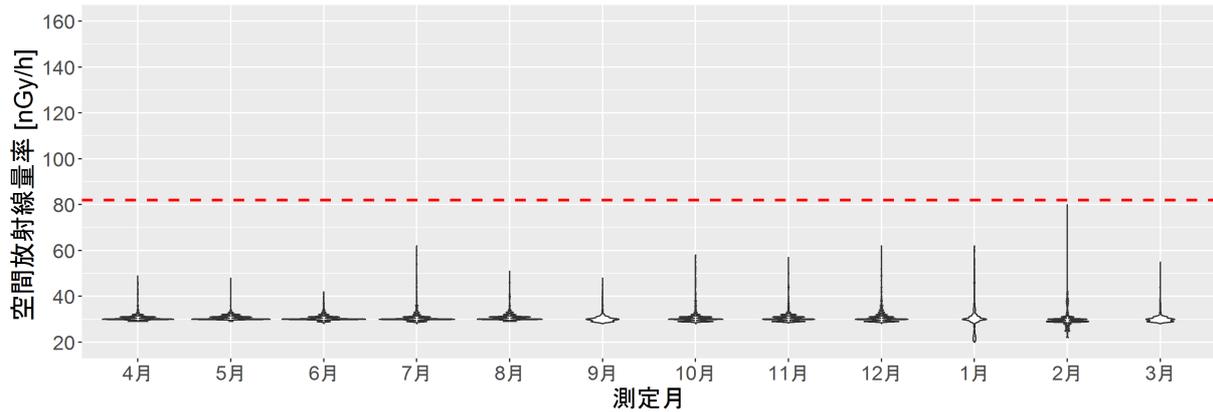


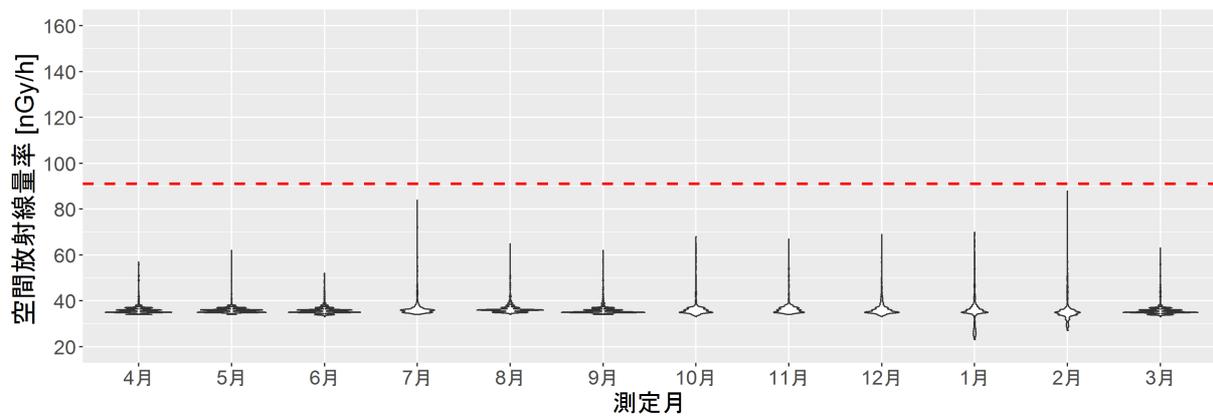
図 I - 2 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

(参考) 緊急時の可搬型モニタリングポスト7地点の空間放射線量率連続測定結果は、彦名公民館を除く6地点については全て平常の変動幅の範囲内であった。

彦名公民館では、令和4年7月に平常の変動幅の上限(81nGy/h)を超過する線量率(85nGy/h)が観測された。観測された日時は、米子局の空間放射線量率が平常の変動幅の上限を超過した日時と同じであり、両地点間の距離は1.6kmで近いことから、原子力施設による影響ではなく、降水時の上昇によるものと考えられた。



外江公民館



余子公民館

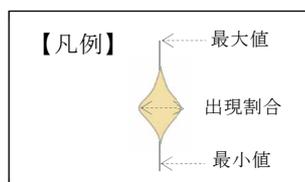
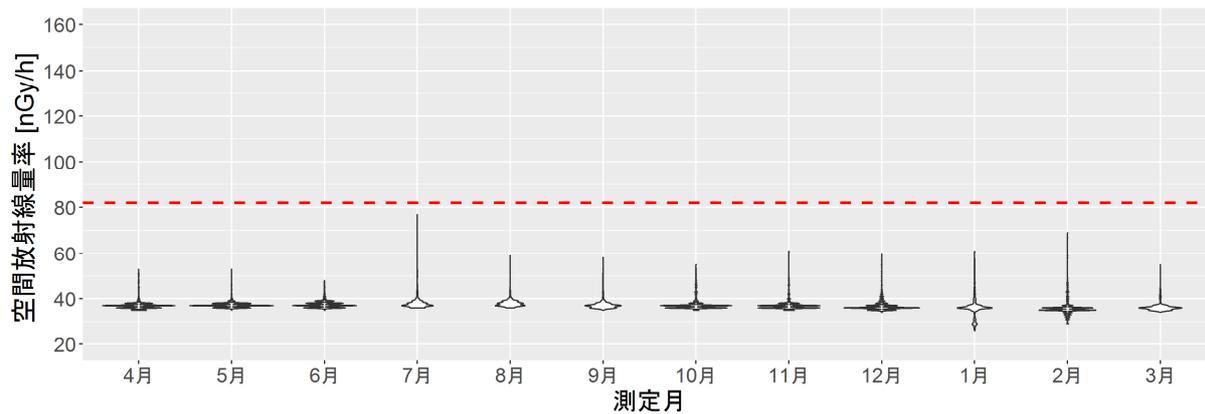
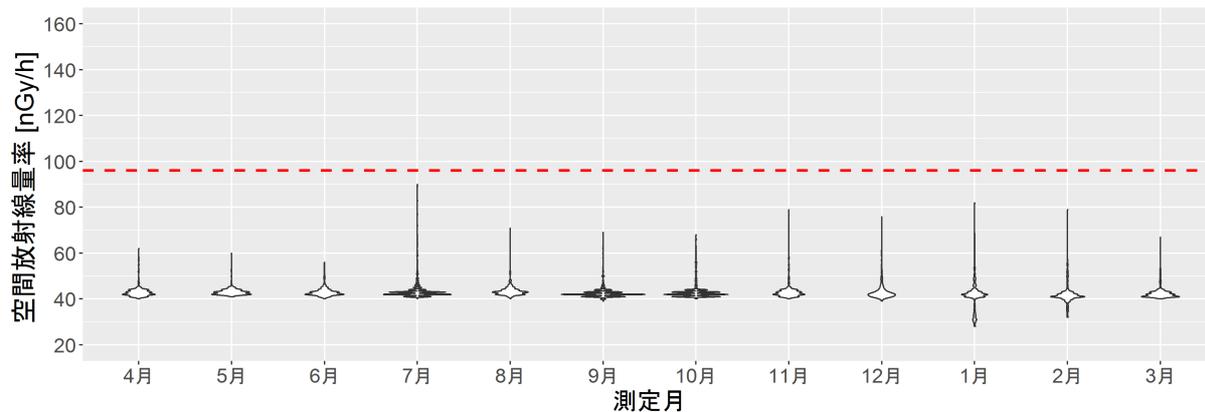


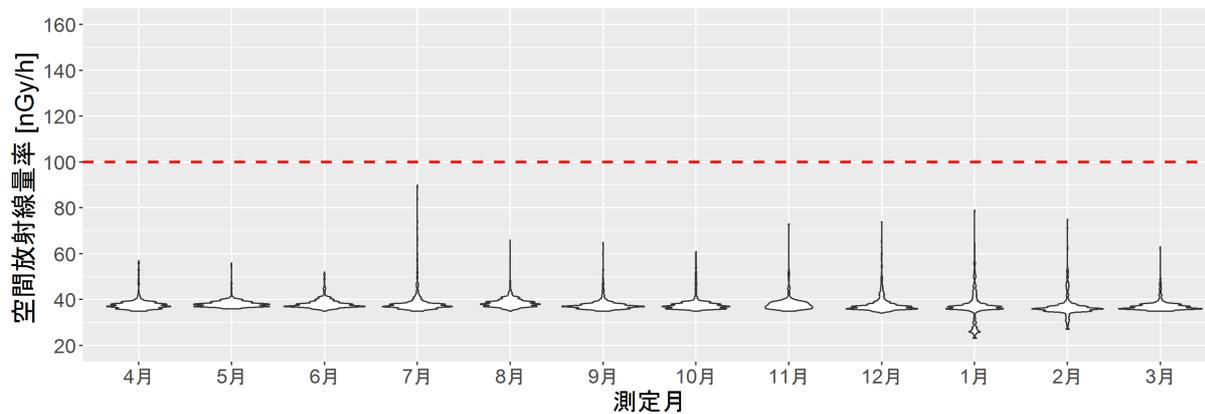
図 I - 2 - 1 b 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)



中浜公民館



大篠津公民館



和田公民館

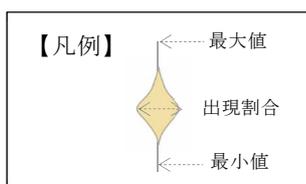


図 I - 2 - 1 c 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

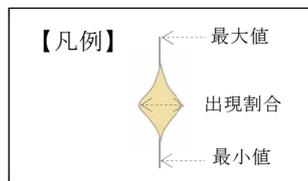
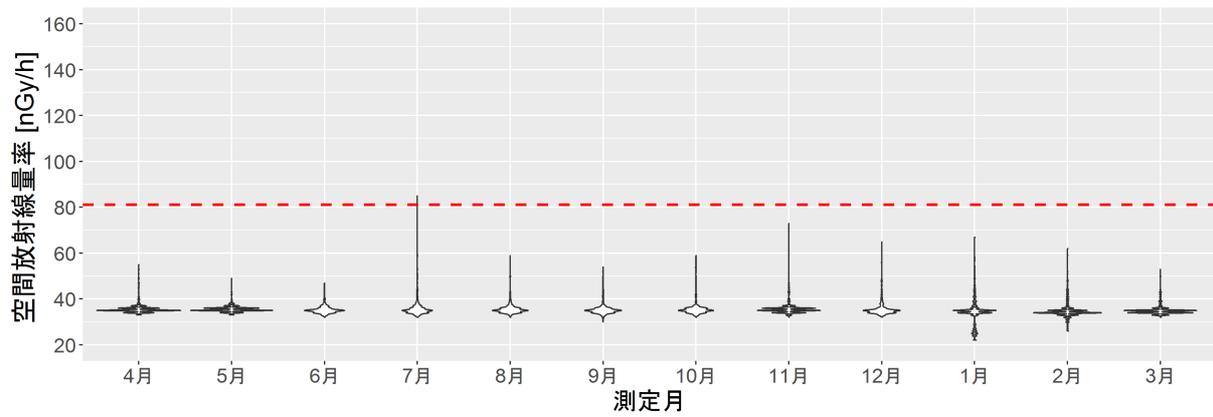
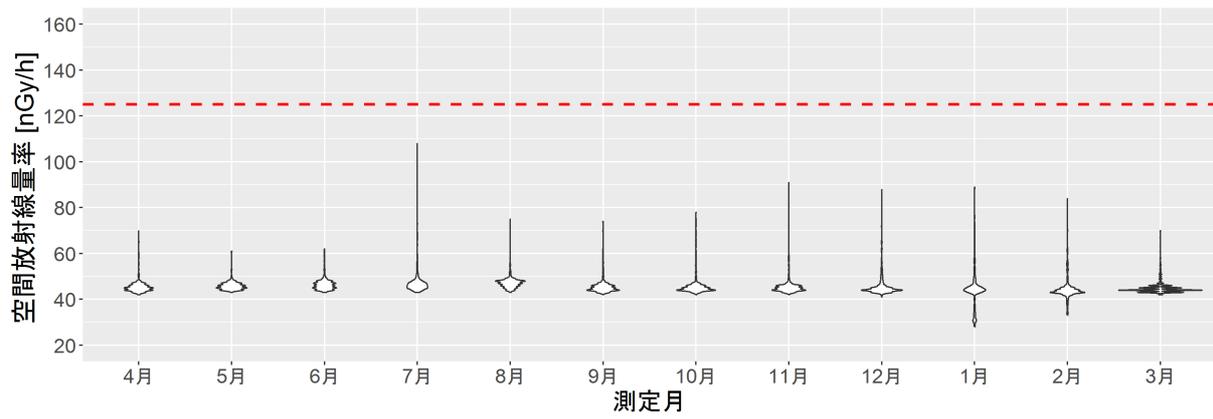
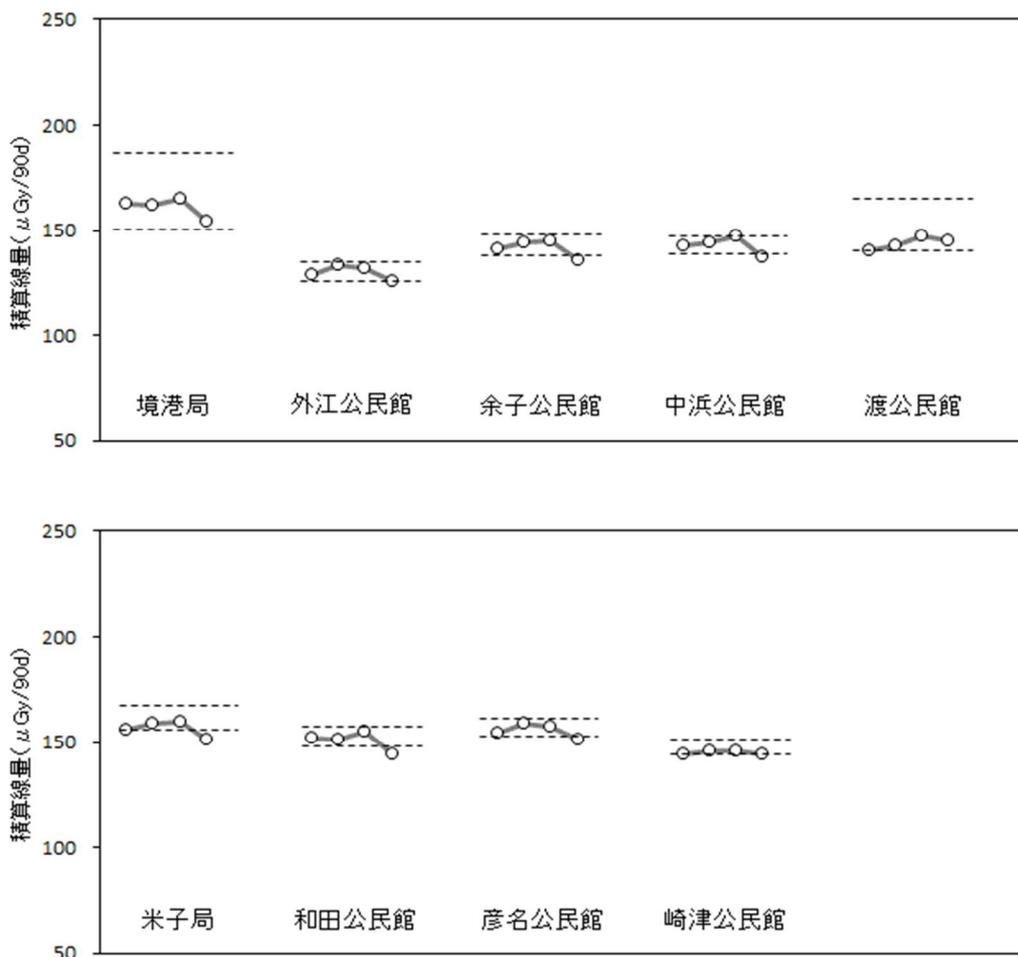


図 I - 2 - 1 d 空間放射線量率連続測定結果 (可搬型モニタリングポスト)

(イ) 積算線量測定

境港局及び崎津公民館の2地点については平常の変動幅の範囲内であったが、第1四半期には渡公民館、第4四半期には米子局、外江公民館、余子公民館、中浜公民館、和田公民館及び彦名公民館において平常の変動幅の下限をわずかに下回った。

積算線量は、平成28年度から測定を開始し、平常の変動幅を設定した期間は過去6年分の測定データであるが、周辺状況の変化が確認されなかったこと、また、モニタリングポストによる連続測定では、1月下旬から2月上旬にかけて積雪により地面からの放射線の遮へいによる線量率の低下が確認されていることから、平常の変動幅の下限を下回ったのは自然変動によるものと考えられる。



注：○は第1～4四半期の測定結果、点線は平常の変動幅を示す。

図 I - 2 - 2 積算線量の測定結果

## イ 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定

大気浮遊じん全 $\alpha$ 放射能及び全 $\beta$ 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-2-1 大気浮遊じんの全 $\alpha$ 放射能、全 $\beta$ 放射能の概要

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 $\alpha$ 放射能	境港局	1,580	9	7 ~ 2,101	mBq/m <sup>3</sup>
	米子局	1,798	13	6 ~ 2,266	
全 $\beta$ 放射能	境港局	4,145	25	21 ~ 5,584	
	米子局	4,800	40	17 ~ 5,920	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、H29～R03年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

## ウ 環境試料中の放射性核種

### (ア) $\gamma$ 線スペクトロメトリー

植物、海底土、農産物及び海産物からCs-137が検出されたが、海底土、農産物及び海産物から検出されたCs-137は、平常の変動幅の範囲内であった。

米子市で採取した植物（松葉）から検出されたCs-137（0.18Bq/kg生）が平常の変動幅の上限（0.16Bq/kg生）を超過した。このことから、要因調査を行ったところ、島根原子力発電所において測定している排気筒モニタ及びモニタリングポストの値の異常はなく、島根原子力発電所の影響ではないと考えられた。また、採取試料の前処理作業、分析機器による測定方法の問題、分析機器の異常は認められなかったこと、全国の検出状況（東京電力(株)福島第一原子力発電所事故影響を除く）と同レベルであることから、過去の大気圏内核実験等の影響によるものと考えられた。

なお、本測定結果については、境港市の植物（松葉）の平常の変動幅（0.18～0.79Bq/kg生）の範囲内であった。

表 I-2-2  $\gamma$ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要

区分	試料数	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
浮遊じん	24	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m <sup>3</sup>
降下物	24	ND	ND	ND	ND		ND	ND	MBq/km <sup>2</sup>
陸水	7	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18～ 0.39	Bq/kg生
陸土	4	ND	ND	ND	ND		ND	ND	Bq/kg 乾土
海水	4	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
海底土	2	ND	ND	ND	ND		ND	3.1	Bq/kg 乾土
農産物	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	Bq/kg生
海産物	2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	Bq/kg生

注1：下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

(イ) トリチウム分析

陸水及び海水から H-3 は検出されなかった。

表 I - 2 - 3 トリチウム (H-3) の分析結果の概要

区分	試料	試料数	分析結果	平常の変動幅	単位
陸水	水道水	3	ND	ND~0.47	Bq/L
	池水	1	ND	ND~0.69	
海水	海水	2	ND	ND~0.48	

(ウ) 放射化学分析 (Sr-90)

陸土 (下層)、農産物 (白ネギ) 及び海産物 (イワガキ) から平常の変動幅の上限を超過する Sr-90 が検出された。このことから、要因調査を行ったところ、島根原子力発電所の排気筒モニタ及びモニタリングポストの値の異常、採取試料の前処理作業、分析機器による測定方法の問題、分析機器の異常は認められなかったことから、過去の大気圏内核実験等の影響によるものと考えられた。

なお、陸土と海産物 (イワガキ) は平成 30 年度から、農産物 (白ネギ) は令和元年から測定を開始しており、本県のデータの蓄積が少ないことから、参考として、本測定結果について全国の調査結果と比較した結果は次のとおりであった。

【陸土 (下層)】

本測定結果 (0.45Bq/kg 乾土) については、全国の調査結果 (東北地方除く、ND~8.2Bq/kg) の範囲内であった。

【農産物 (白ネギ)】

本測定結果 (0.025 Bq/kg 生) については、全国の調査結果 (ネギ及び白ネギ、0.013~0.18 Bq/kg 生) の範囲内であった。

【海産物 (イワガキ)】

本測定結果 (0.074Bq/kg 生) については、全国の調査結果 (貝類、ND~0.045Bq/kg 生) と比較すると、概ね同レベルであった。

※ 全国の調査結果：「日本の環境放射能と放射線 (原子力規制庁)」による検索結果。平成 22 年度及び平成 25 年度~令和 3 年度の 10 年間分 (平成 23~24 年度は福島第一原子力発電所の事故による影響のため除外した)。

表 I - 2 - 4 ストロンチウム (Sr-90) の分析結果の概要

区分	試料	試料数	分析結果	平常の変動幅	単位
陸土	陸土 (表層)	2	ND~0.33	ND~0.47	Bq/kg 乾土
	陸土 (下層)	2	ND~ <u>0.45</u>	0.23~0.41	
農産物	白ネギ	1	<u>0.025</u>	0.013~0.022	Bq/kg 生
海産物	ワカメ	1	0.078	ND~0.12	
	イワガキ	1	<u>0.074</u>	ND~0.045	

注 1：下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

表 I - 2 - 5 固定型モニタリングポストの連続測定結果 (1時間値)

(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	78	75	74	108	90	85	91	86	104	103	117	88	117	119
	最低値	52	54	53	53	54	53	53	53	52	35	40	53	35	34
	平均値	56	58	58	58	58	56	57	57	56	55	55	56	57	—
米子局	最高値	75	70	69	<u>122</u>	86	83	88	100	100	99	95	81	122	118
	最低値	50	51	51	50	51	50	51	51	50	37	42	50	37	34
	平均値	54	54	54	54	54	53	54	54	54	53	53	53	54	—

注1:「平常の変動幅」:米子局は前年度までの5年間(H29~R03)の最小値から最大値までの範囲。

境港局は、H31年1月~R03年3月の最小値から最大値までの範囲。

注2:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

表 I - 2 - 6 可搬型モニタリングポストの連続測定結果 (1時間値)

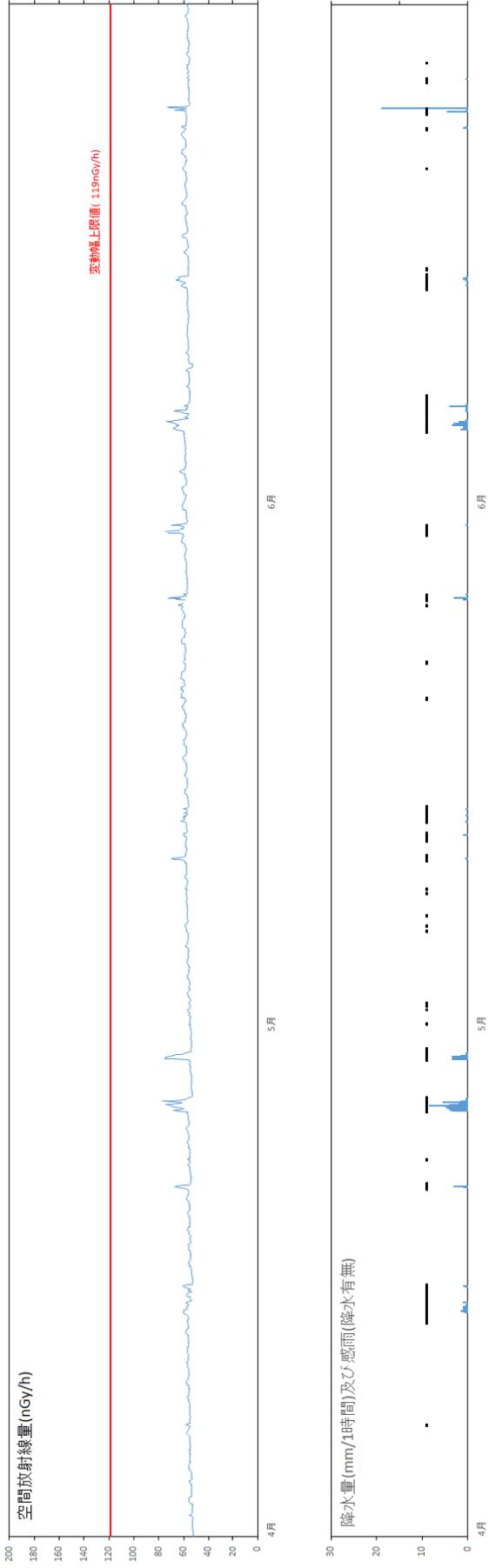
(単位: nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
外江公民館	最高値	49	48	42	62	51	48	58	57	62	62	80	55	80	82
	最低値	29	29	28	28	29	28	28	28	28	19	22	28	19	19
	平均値	31	31	31	31	31	30	31	31	31	31	30	30	31	—
余子公民館	最高値	57	62	52	84	65	62	68	67	69	70	88	63	88	91
	最低値	34	34	33	34	34	34	33	34	33	23	27	33	23	21
	平均値	36	36	36	37	37	36	37	37	37	36	36	36	36	—
中浜公民館	最高値	53	53	48	77	59	58	55	61	60	61	69	55	77	82
	最低値	35	35	35	36	36	35	35	35	34	<u>26</u>	29	34	26	29
	平均値	37	37	37	38	38	37	37	37	37	36	36	36	37	—
大篠津公民館	最高値	62	60	56	90	71	69	68	79	76	82	79	67	90	96
	最低値	40	41	40	40	40	39	40	40	39	<u>28</u>	32	40	28	29
	平均値	43	43	43	44	44	43	43	43	43	42	42	43	43	—
和田公民館	最高値	57	56	52	90	66	65	61	73	74	79	75	63	90	100
	最低値	35	36	35	35	35	35	35	35	34	<u>23</u>	27	35	23	24
	平均値	38	38	38	39	39	38	38	38	38	37	37	37	38	—
夜見公民館	最高値	70	61	62	108	75	74	78	91	88	89	84	70	108	125
	最低値	42	43	43	43	43	42	42	42	41	28	33	42	28	28
	平均値	46	46	46	47	47	46	46	46	46	44	45	45	46	—
彦名公民館	最高値	55	49	47	<u>85</u>	59	54	59	73	65	67	62	53	85	81
	最低値	33	33	32	32	32	30	32	32	32	<u>22</u>	26	32	22	25
	平均値	36	36	35	36	36	35	36	36	36	34	35	35	35	—

注1:「平常の変動幅」は、各測定地点における前年度までの5年間(H29~R03)の最小値から最大値までの範囲。

注2:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

境港局



米子局

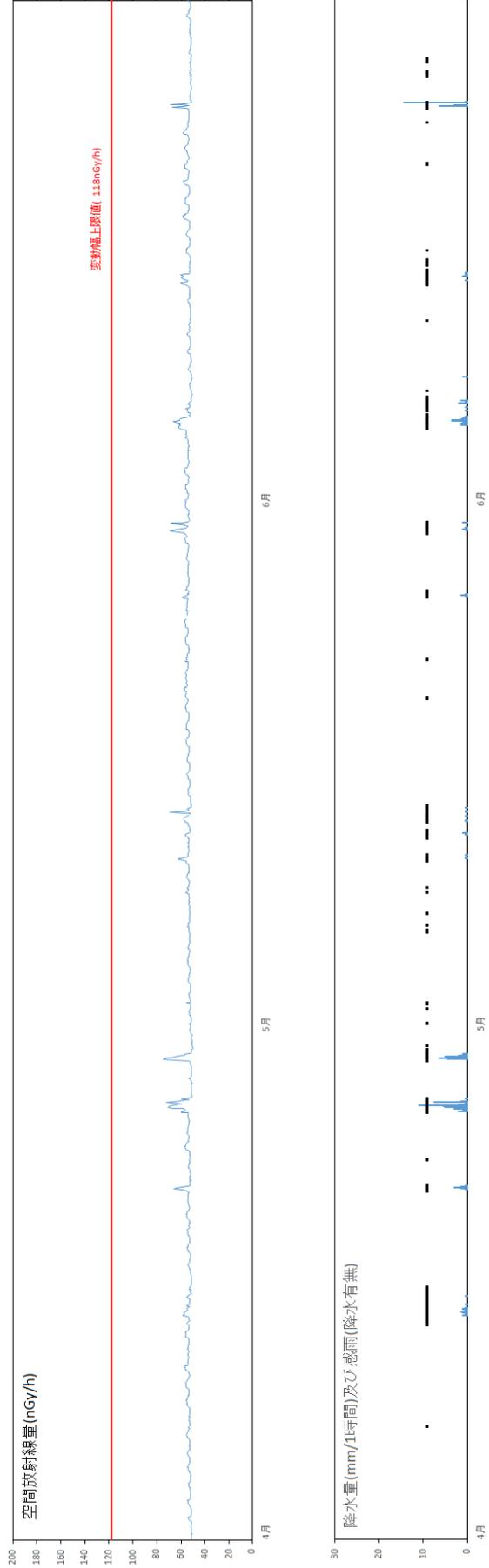
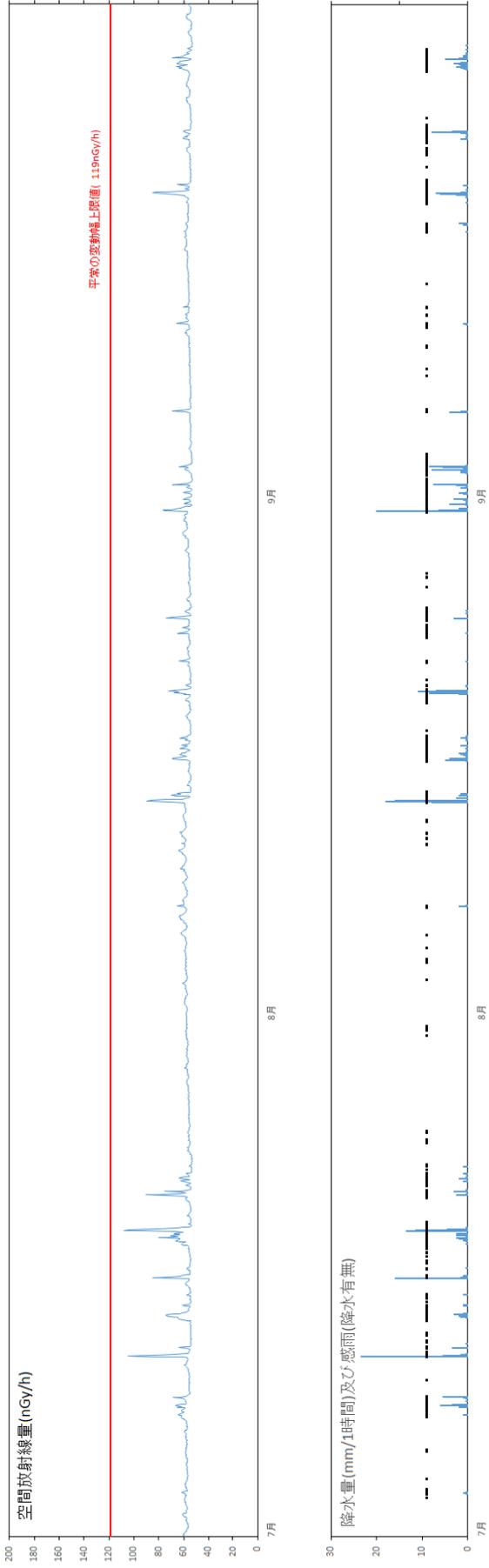


図 I-2-3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和4年度第1四半期、1時間値)

境港局



米子局

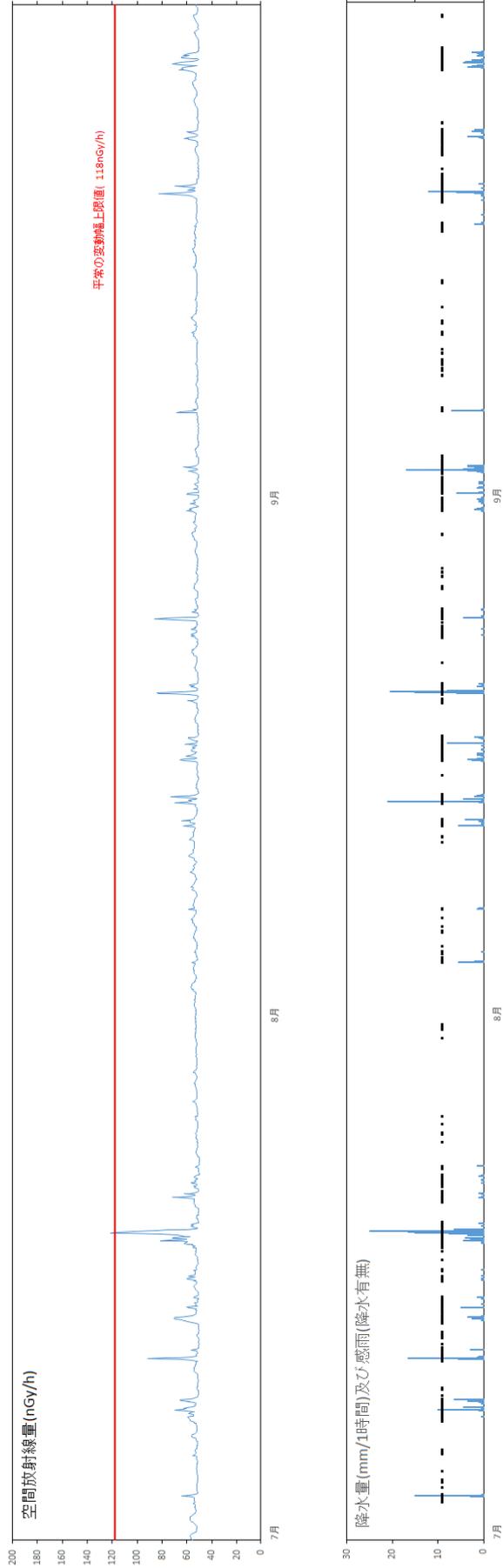
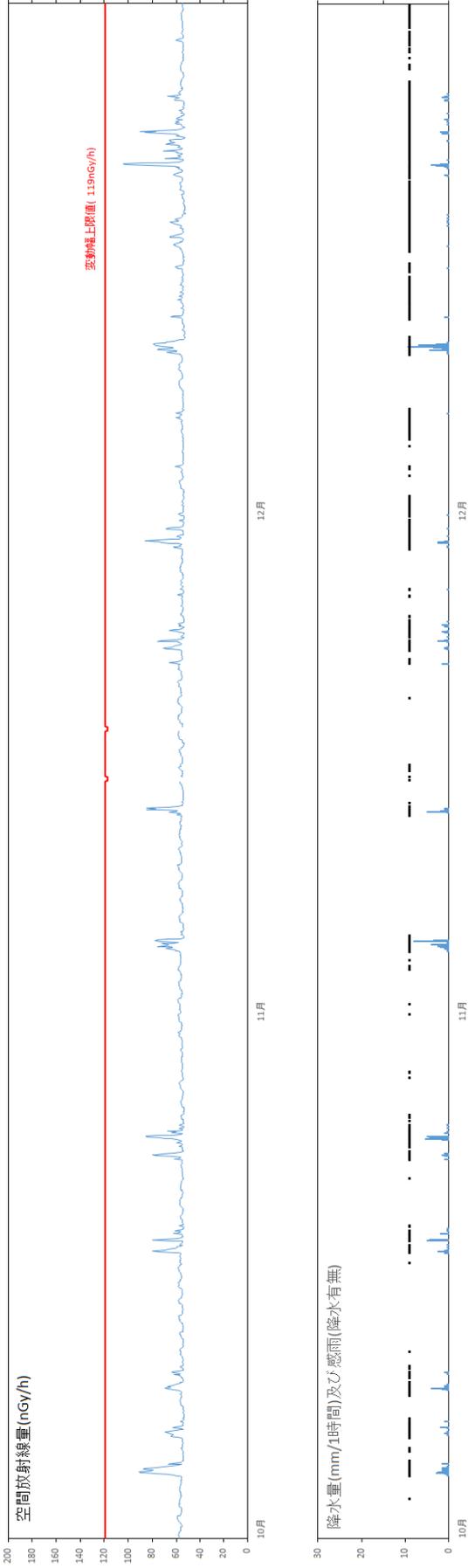


図 I - 2 - 3b 空間放射線量率と降水量の関係 (令和4年度第2四半期、1時間値)

境港局



米子局

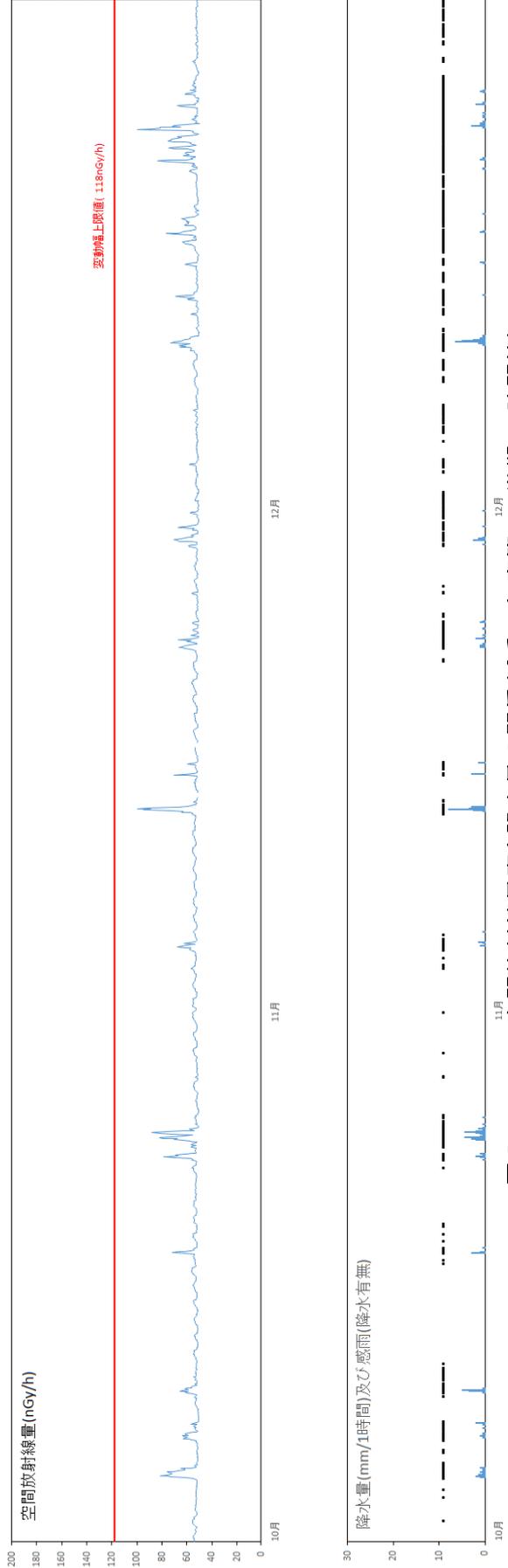
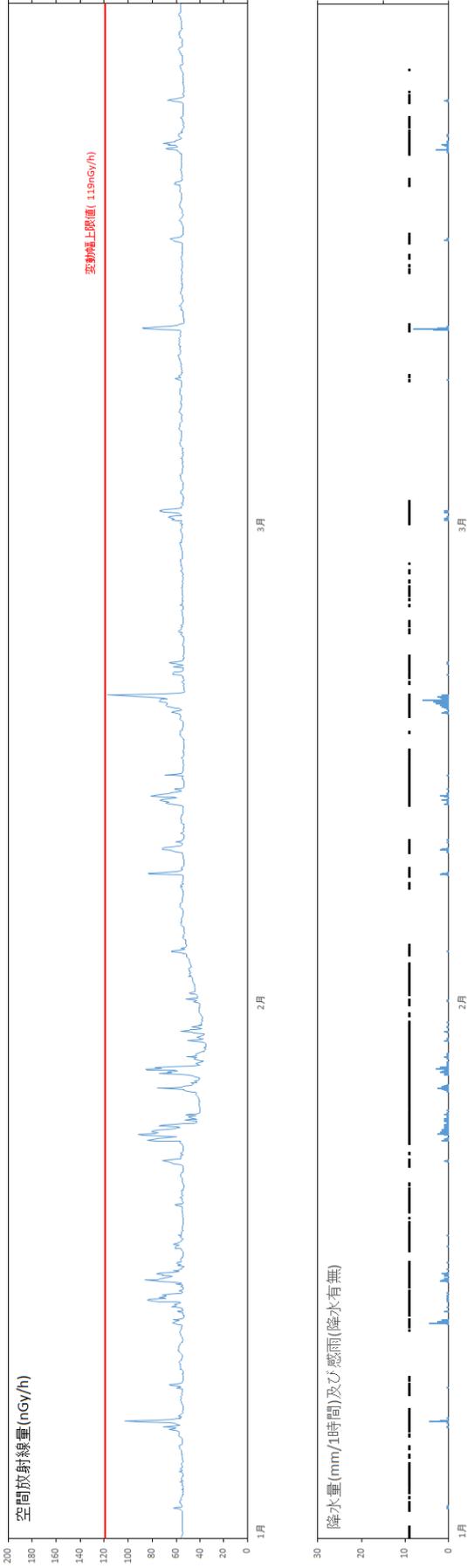


図 I-2-3c 空間放射線量率と降水量の関係(令和4年度第3四半期、1時間値)

境港局



米子局

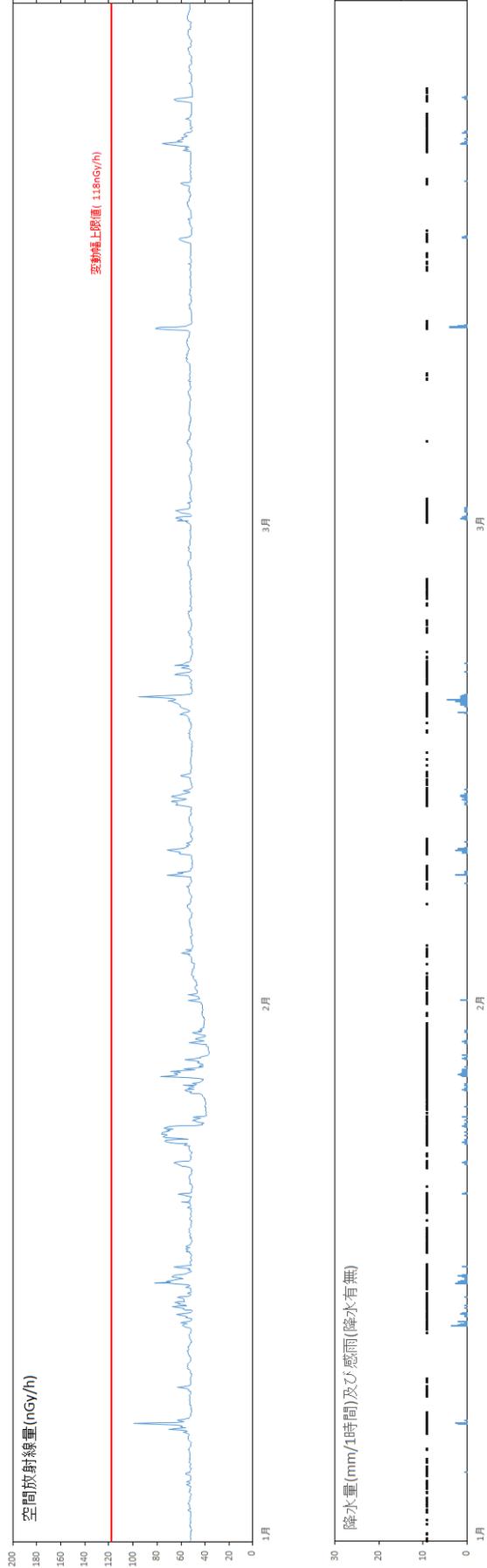


図 I - 2 - 3d 空間放射線率と降水量の関係(令和4年度第4四半期、1時間値)

## (イ)積算線量測定

表 I - 2 - 7 積算線量の測定結果

(単位:上段  $\mu\text{Gy}/90\text{d}$ 、下段  $\mu\text{Gy}/\text{h}$ )

測定地点	第1四半期 (4～6月)	第2四半期 (7～9月)	第3四半期 (10～12月)	第4四半期 (1～3月)	平常の変動幅 (暫定値)	年間線量 ( $\text{mGy}/365\text{d}$ )
境港局	163 (0.075)	162 (0.075)	165 (0.076)	154 (0.071)	150～188 (0.069～0.087)	0.65
米子局	156 (0.072)	159 (0.074)	160 (0.074)	<u>151</u> (0.070)	155～168 (0.072～0.078)	0.63
外江公民館	129 (0.060)	133 (0.062)	132 (0.061)	<u>126</u> (0.058)	127～135 (0.059～0.063)	0.53
余子公民館	141 (0.065)	144 (0.067)	145 (0.067)	<u>136</u> (0.063)	139～148 (0.064～0.069)	0.57
中浜公民館	143 (0.066)	144 (0.067)	147 (0.068)	<u>137</u> (0.063)	140～147 (0.065～0.068)	0.58
和田公民館	152 (0.070)	151 (0.070)	155 (0.072)	<u>144</u> (0.067)	148～ <u>156</u> (0.069～0.072)	0.61
彦名公民館	154 (0.071)	159 (0.074)	157 (0.073)	<u>151</u> (0.070)	153～161 (0.071～0.075)	0.63
渡公民館	<u>140</u> (0.065)	143 (0.066)	147 (0.068)	145 (0.067)	141～165 (0.065～0.076)	0.58
崎津公民館	144 (0.067)	146 (0.068)	146 (0.068)	144 (0.067)	143～151 (0.066～0.070)	0.59

注1:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R03年度)とする。

注2:下段( )内の数値は、当該期間における1時間当たりの線量率に換算したものの。

注3:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

イ 大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定

表 I - 2 - 8 大気浮遊じんの測定結果

(単位: mBq/m<sup>3</sup>)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 $\alpha$ 放射能	境港局	最高値	1,012	1,097	1,014	840	977	871	914	1,428	1,510	1,580	1,105	1,356	1,580	2,101
		最低値	30	30	12	11	9	16	13	34	36	15	40	54	9	6
		平均値	240	270	175	175	187	151	237	345	262	254	297	351	244	
	米子局	最高値	1,081	1,222	1,597	1,249	1,268	1,133	1,224	1,582	1,549	1,373	1,352	1,798	1,798	2,266
		最低値	19	17	13	16	16	20	18	18	35	18	47	56	13	5
		平均値	202	174	253	273	286	238	315	464	270	295	381	412	296	
全 $\beta$ 放射能	境港局	最高値	2,958	2,986	2,924	2,377	2,705	2,286	2,688	4,118	4,119	4,145	3,183	3,506	4,145	5,584
		最低値	88	95	34	30	25	45	41	100	99	42	111	163	25	21
		平均値	673	765	489	483	520	421	716	1,019	729	703	848	989	692	
	米子局	最高値	3,101	3,644	4,404	3,689	3,297	3,095	3,421	4,800	4,405	3,794	3,647	4,623	4,800	5,920
		最低値	58	59	40	50	45	57	53	45	109	56	137	149	40	17
		平均値	586	520	733	791	777	651	935	1,383	813	885	1,054	1,121	852	
全 $\beta$ 全 $\alpha$	境港局	最高値	3.3	3.4	3.1	3.2	3.2	3.3	3.6	3.4	3.1	3.1	3.4	3.2	3.6	
		最低値	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.6	2.5	
		平均値	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	3.0	3.0	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	
	米子局	最高値	3.6	3.7	3.4	3.5	3.5	3.1	3.6	3.7	3.5	3.5	3.2	3.2	3.7	
		最低値	2.6	2.7	2.7	2.6	2.4	2.5	2.6	2.5	2.7	2.6	2.5	2.6	2.4	
		平均値	2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	2.9	

注1: 下線は平常の変動幅を超過した結果であることを示す。

注2: 3時間集じんし、3時間測定。

注3: 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(H29~R03年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）

（ア）浮遊じん

表 I-2-9 浮遊じんの測定結果

(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港局	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	5.0	0.45	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	5.1	0.40	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.5	0.43	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	0.86	0.43	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.4	0.44	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.9	0.41	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.45	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.0	0.38	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.9	0.47	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.0	0.35	
	2月1日～2月28日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.5	0.46	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	5.6	0.49	
米子局	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.4	0.35	ND ~0.010
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.3	0.42	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.1	0.42	
	7月1日～7月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.3	0.46	
	8月1日～8月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	1.9	0.41	
	9月1日～9月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.38	
	10月1日～10月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.33	
	11月1日～11月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.3	0.27	
	12月1日～12月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.4	0.34	
	1月1日～1月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.6	0.32	
	2月1日～2月28日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.3	0.37	
	3月1日～3月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	4.8	0.35	

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取(H24~29年度は月1回の24時間採取)

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H25~R03年度)とする。

## (イ) 降下物

表 I-2-10 降下物の測定結果

(単位: MBq/km<sup>2</sup>)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	
境港局	4月1日～5月6日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	190	1.9	ND ～0.15
	5月6日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	58	ND	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	58	2.3	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	160	1.4	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	130	ND	
	9月1日～10月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	110	1.9	
	10月4日～11月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	110	ND	
	11月1日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	170	1.9	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	450	4.0	
	1月5日～2月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	490	4.4	
	2月1日～3月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	270	2.2	
	3月1日～4月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	150	1.9	
米子局	4月1日～5月6日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	68	4.4	ND～ 0.16 (注3)
	5月6日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	25	ND	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	52	1.8	
	7月1日～8月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	140	1.1	
	8月1日～9月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	140	ND	
	9月1日～10月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	78	2.9	
	10月4日～11月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	100	1.1	
	11月1日～12月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	89	2.7	
	12月1日～1月5日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	310	4.2	
	1月5日～2月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	260	2.7	
	2月1日～3月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	170	ND	
	3月1日～4月4日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	88	ND	

注1: NDは検出下限値未満を示す。

注2: 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H25～R03年度)とする。なお、H24年度の値は、福島第一原子力発電所の事故の影響を考慮して除外した。

注3: 米子局はR01年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R01年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I - 2 - 11 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
水道水	蛇口水	境港市上道町	R04.05.10	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	44	ND
			R04.10.24	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	53	
		米子市河崎	R04.05.10	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	45	ND
			R04.10.24	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	56	
	原水	米子市福市(米子市水道局福市着水井)	R04.05.10	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	49	ND
			R04.10.24	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	48	
池水	表層水	境港市小篠津町	R04.10.24	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	17	800	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H24~R03年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I - 2 - 12 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
松葉	二年葉	境港市幸神町	R04.10.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	29	45	0.18~0.79
		米子市夜見町	R04.10.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<u>0.18</u>	30	49	0.050~0.16

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H24~R03年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

(オ) 陸土

表 I - 2 - 13 陸土の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7		K-40
陸土	表層(0~5cm)	境港市馬場崎町	R04.07.04	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	920	ND
		米子市河崎	R04.07.04	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	980	ND~1.1
	下層(5~20cm)	境港市馬場崎町	R04.07.04	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	860	ND
		米子市河崎	R04.07.04	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	930	ND~1.6

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H24~R03年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I-2-14 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	米子市葭津地先(中海)	R04.04.18	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	23	170	ND
			R04.10.12	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	14	180	
		米子市大篠津町地先(美保湾)	R04.05.24	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	200	ND~2.2
			R04.11.21	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	ND	240	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H24~R03年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 海底土

表 I-2-15 海底土の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海底土	表層底質	米子市葭津地先(中海)	R04.10.12	ND	ND	ND	ND	/	ND	3.1	ND	460	ND~8.0
		米子市大篠津町地先(美保湾)	R04.11.21	ND	ND	ND	ND	/	ND	ND	7.1	560	ND~0.90

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H24~R03年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(ク) 農産物

表 I-2-16 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅(暫定値)
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	R04.10.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	15	0.16~0.28
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R04.12.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	43	ND
ダイコン	葉	境港市中海干拓地	R04.12.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	43	70	ND
	根可食部		R04.12.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	56	ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(白ネギ・ダイコン:H25~R03年度、米:H26~R03年度)とする。

注3:米はR01年度に生産者の変更に伴い、採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ケ) 海産物

表 I - 2 - 17 海産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種						自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)	
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R04.04.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	260	ND
イワガキ	身		R04.07.20	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.4	77	ND	
セイゴ	身		R5.3.3	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	130	0.10~0.16	
ナマコ	身		R5.3.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	ND	

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(ワカメ・イワガキ・セイゴ:H26~R03年度、ナマコ:H25~R03年度)とする。

エ 環境中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I-2-18 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)
水道水	蛇口水	境港市上道町	R04.05.10	ND	ND ~ 0.47
		米子市河崎	R04.05.10	ND	ND ~ 0.37
	原水	米子市福市(米子市水道局福市着水井)	R04.05.10	ND	ND
池水	表層水	境港市小篠津町	R04.10.24	ND	ND ~ 0.69
海水	表層水	米子市葭津地先(中海)	R04.10.12	ND	ND ~ 0.48
		米子市大篠津町地先(美保湾)	R04.11.21	ND	ND ~ 0.39

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H27~R03年度)とする。

オ 環境中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I-2-19 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸土	表層 (0~5cm)	境港市馬場崎町	R04.07.04	0.33	0.30~0.43	Bq/kg乾土
		米子市河崎	R04.07.04	ND	ND~0.47	
	下層 (5~20cm)	境港市馬場崎町	R04.07.04	<u>0.45</u>	0.31~0.34	
		米子市河崎	R04.07.04	ND	0.23~0.41	
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	R04.12.01	<u>0.025</u>	0.013~0.022	Bq/kg生
ワカメ	可食部	境港市近海	R04.04.04	0.078	ND~0.12	
イワガキ	身	境港市近海	R04.07.20	<u>0.074</u>	ND~0.045	

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(陸土・イワガキ:H30~R03年度、白ネギ・ワカメ:R01~R03年度)とする。

注3:下線は平常の変動幅の範囲外の結果であることを示す。

### 3 令和5年度の平常の変動幅の設定について

令和4年度の測定結果を踏まえ、令和5年度の平常の変動幅を(1)～(3)のとおりを設定する。なお、測定計画の見直しにより、令和4年度で測定終了となった測定項目については、参考として(4)に示す。

- 空間放射線量率連続測定、大気浮遊じん全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能の連続測定  
過去5年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。
- 積算線量測定、環境試料の核種分析  
過去10年間の測定値の最小値から最大値までの範囲とする。

#### (1) 空間放射線

##### ア 空間放射線量率連続測定(固定型モニタリグポスト)

(単位: nGy/h)

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H25)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
境港局	34 ~ 119	R02.06.25 13:00	34 ~ 119	R02.06.25 13:00
米子局	37 ~ 122	R04.07.19 10:00	34 ~ 146	H27.12.17 21:00

- ※ 境港局の「平常の変動幅」は、H30年度に実施した非常用発電機及びフェンス新設の影響を考慮して、H31年1月～R04年度までの最小値から最大値までの範囲とする。
- ※ 米子局の「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(H30～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

##### イ 空間放射線量率連続測定(可搬型モニタリングポスト)

(単位: nGy/h)

測定地点	平常の変動幅		測定開始時(H26)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生日時	最小値から最大値	最大値の発生日時
外江公民館	19 ~ 80	R05.02.19 11:00	19 ~ 104	H27.12.17 20:00
余子公民館	23 ~ 90	R03.12.13 03:00	21 ~ 103	H27.12.17 21:00
中浜公民館	26 ~ 79	R02.06.25 12:00	26 ~ 99	H27.12.17 21:00
大篠津公民館	28 ~ 90	R03.07.19 10:00	28 ~ 107	H29.01.23 07:00
和田公民館	23 ~ 90	R03.07.19 10:00	23 ~ 111	H27.12.17 21:00
夜見公民館	28 ~ 108	R03.07.19 10:00	28 ~ 135	H27.12.17 21:00
彦名公民館	22 ~ 85	R03.07.19 10:00	22 ~ 99	H27.12.17 21:00

- ※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(H30～R04年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

## ウ 積算線量測定

(単位：μ Gy/90d)

測定地点	平常の変動幅(暫定値) ※測定開始時(H28)からの測定値	
	最小値から最大値	最大値の発生年月
境港局	150 ～ 188	H28.7～9
米子局	151 ～ 168	H28.4～6
外江公民館	126 ～ 135	H28.4～6,H28.7～9
余子公民館	136 ～ 148	H28.4～6
中浜公民館	137 ～ 147	H28.4～6,H28.7～9
和田公民館	144 ～ 156	H28.4～6
彦名公民館	151 ～ 161	H28.4～6,H28.7～9
渡公民館	140 ～ 165	H28.7～9
崎津公民館	143 ～ 151	R02.1～3

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値(H28～R04年度)とする。

## (2) 大気浮遊じん全α及び全β放射能の連続測定

測定地点	全α放射能(mBq/m <sup>3</sup> )		全β放射能(mBq/m <sup>3</sup> )	
	平常の変動幅	測定開始からの 最小～最大値	平常の変動幅	測定開始からの 最小～最大値
境港局	6～2,101 (H30.07.20 08:00)	6～2,124 (H26.04.16 10:00)	21～5,584 (H30.07.20 08:00)	21～5,584 (H30.07.20 08:00)
米子局	5～2,266 (H30.08.03 08:00)	5～2,481 (H26.06.02 10:00)	17～5,920 (H30.08.03 08:00)	17～5,920 (H30.08.03 08:00)

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(H30～R04年度)の最小から最大値までの範囲とする。

※ 各項目の測定はH26年度から開始した。

※ 数値の下の( )は最大値の検出年月日 時刻を示す。

(3) 環境試料中の放射性核種

ア ガンマ線スペクトロメトリー

区分/試料	部位	採取地点	測定 期間	Cs-137		
				平常の変動幅	測定開始からの 最小から最大値	単位
大気 浮遊じん	—	境港市上道町	H24～ R04	ND (-)	ND (-)	mBq/m <sup>3</sup>
		米子市河崎		ND～0.010 (R03.12)	ND～0.010 (R03.12)	
降下物	—	境港市上道町	H25～ R04	ND～0.15 (R03.05)	ND～0.15 (R03.05)	MBq/km <sup>2</sup>
		米子市河崎	H29～ R04	ND～0.16 (H30.3)	ND～0.16 (H30.3)	
陸 水	水道水	蛇口水	H24～ R04	ND (-)	ND (-)	mBq/L
		米子市河崎		ND (-)	ND (-)	
		原水		米子市福市	ND (-)	
植 物	松葉	二年葉	H24～ R04	0.18～0.79 (R03.10)	0.18～0.79 (R03.10)	Bq/kg 生
		境港市幸神町		米子市夜見町	0.050～0.18 (R04.10)	
陸土	表層	境港市馬場崎町	H24～ R04	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 乾土
		米子市河崎		ND (-)	1.1 (H24.7)	
海水	表層水	米子市昭和町 (美保湾)	R05～	—	—	mBq/L
		米子市大篠津町 地先(美保湾)	H24～ R04	ND～2.2 (H25.12)	ND～2.2 (H25.12)	
農 産 物	米	精米	H26～ R04	0.16～0.28 (H26.10)	0.16～0.28 (H26.10)	Bq/kg 生
	白ネギ	可食部	H25～ R04	ND (-)	ND (-)	
	ダイコン	根		境港市中海干拓地	ND (-)	
海 産 物	ワカメ	可食部	H26～ R04	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 生
	ワガキ	身		ND (-)	ND (-)	
	セイゴ	身		0.10～0.16 (H28.10)	0.10～0.16 (H28.10)	
	ナマコ	身		H25～ R04	ND (-)	

※ 「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小から最大値までの範囲とする。

※ 測定開始から10年経過しない項目は暫定値(測定開始年度～R04年度)とする。

※ 数値の下の( )は最大値の採取年月を示す。

### イ トリチウム分析

区分/試料	部位	採取地点	測定期間	H-3		
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月
陸水	水道水	蛇口水	H27～R04	ND ～ 0.47	Bq/L	H27.05
		米子市河崎		ND ～ 0.37		H28.05
	原水	米子市福市	ND	—		
海水	表層水	米子市大篠津町地先 (美保湾)	H27～R04	ND ～ 0.39		H27.11

※ 「平常の変動幅」は、各地点における前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないのため、暫定値（H27～R04年度）とする。

### ウ 放射化学分析（ストロンチウム）

区分/試料	部位	採取地点	測定期間	Sr-90		
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月
陸土	表層	境港市馬場崎町	H30～R04	0.30～0.43	Bq/kg 乾土	R03.07
		米子市河崎		ND～0.47		R01.07
農産物	白ネギ	可食部	R01～R04	0.013～0.025	Bq/kg 生	R04.12
海産物	ワカメ	可食部		ND～0.12		R03.04
	イワガキ	身	H30～R04	ND～0.074		R04.07

※ 「平常の変動幅」は、各地点における前年度までの10年間の最小から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年経過しないため、暫定値（各測定開始年度～R04年度）とする。

### エ 放射化学分析（プルトニウム）

区分/試料	部位	採取地点	採取年月	Pu-238	Pu-239+240	単位
陸土	表層	境港市馬場崎町	R01.07	ND	ND	Bq/kg 乾土
		米子市河崎		ND	0.029	
	下層	境港市馬場崎町		ND	ND	
		米子市河崎		ND	0.027	

※ 「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）、平成30年4月、原子力規制庁監視情報課」に基づき、実施範囲全域において最低1回の調査を行ったもの。

(4) 令和4年度で測定終了した測定項目【参考】

ア 環境試料中の放射性核種（γ線スペクトロメトリー）

区分/試料	部位	採取地点	測定期間	Cs-137		
				平常の変動幅	測定開始からの 最小から最大値	単位
陸水	池水	境港市小篠津町	H24～ R04	ND (-)	ND (-)	mBq/L
陸土	下層	境港市馬場崎町	H24～ R04	ND (-)	ND (-)	Bq/kg 乾土
		米子市河崎		ND (-)	1.6 (H24.7)	
海水	表層水	米子市葭津地先 (中海)	H24～ R04	ND (-)	ND (-)	mBq/L
海底土	表層	米子市葭津地先	H24～ R04	ND～8.0 (H25.10)	ND～8.0 (H25.10)	Bq/kg 乾土
	底質	米子市大篠津町 地先		ND～0.90 (R02.11)	ND～0.90 (R02.11)	
農 産 物	ダイコン	葉	境港市中海干拓地	H25～ R04	ND (-)	Bq/kg 生
牛乳	—	米子市和田町	H25～ R01	ND (-)	ND (-)	Bq/L

イ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

区分/試料	部位	採取地点	測定期間	H-3			
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月	
陸 水	池水	表層水	境港市小篠津町	H27～R04	ND～0.69	Bq/L	H27.11
海水	表層水	米子市葭津地先 (中海)	H27～R04	ND ～ 0.48	H27.10		

ウ 環境試料中の放射性核種（放射化学分析（ストロンチウム））

区分/試料	部位	採取地点	測定期間	Sr-90		
				平常の変動幅 (暫定値)	単位	最大値の 採取年月
陸土	下層	境港市馬場崎町	H30～R04	0.31～0.45	Bq/kg	R04.07
		米子市河崎		0.23～0.41	乾土	R01.07